

---

# 白き闇になってしまった男の旅路

災骸兵器

---

タテ書き小説ネット Byヒナプロジェクト

<http://pdfnovels.net/>

## 注意事項

このPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

### 【小説タイトル】

白き闇になつてしまつた男の旅路

### 【Nコード】

N25020

### 【作者名】

災骸兵器

### 【あらすじ】

気が付いたら古代の世界で仮面ライダークウガのラスボス、ダグバになつていた主人公。

悩みながらも進み、そして全てが終わつたわと目を開けるとそこは…。

主人公が最強キャラなため好き嫌いがかなり別れると思います。独自設定などもあります。

それでも最後までお付き合いいただければ幸いです。

## 第一話〜全ての終わり／全ての始まり〜（前書き）

初めまして、作者です。

この度は私の作品を読もうとさせていただきありがとうございます。

この作品は作者のダグバへの愛が極まってできた作品です。

なのでかなりのダグバ贋履があったりしますがご了承ください。

駄文な上に遅筆ですが楽しんでいただけたら幸いです。

## 第一話〜全ての終わり／全ての始まり〜

雪の降る長野県九朗ヶ岳、そこで二体の人ならざる者達が戦っていた。

片方は全体的に白い体に金の豪華な装飾つけていて、もう片方は黒い体に此方も要所に金の装飾がある。

彼等の名は白い方が“ン？ダグバ？ゼバ”と言い、そして黒い方が“クウガ”と言った。

この二体は互いに凄まじい力を持っており“白の闇”“黒の闇”と呼ばれる程の戦士だった。

そんな二体がただ己の生存を／相手を殺す事を賭けて戦っているのだった。

戦いの中で白い異形、ン？ダグバ？ゼバは思う。

（永かった…、ここまで来るのに本当に永かった…）

（目が覚めて気がついたら遙か古代の地球にいてしかも其処で自分はダグバと呼ばれていてグロンギにリントという。それでこの世界が“仮面ライダークウガ”の世界だと言う事が分かった）

ダグバは回想する。

（最初は吃驚したさ。ダグバと言えばクウガの最強にして最悪の敵役 かたきやく、何で自分がそんな存在になっているのかって）  
白が黒を殴る。

（でもそんな事はゲゲルが始まったら考えている暇は無かった）

黒が白を殴る。

（グロンギは戦闘民族、戦えない者には死が訪れるだけだった）

白の力が黒を燃やす。

（幸いダグバの体には力があつた。その力で沢山の人…リントを殺した…）

黒の力が白を燃やす。

（そして初代クウガに封印されて…現代で目覚めて…グロンギを復

活させて…ゲゲルを進めた)

白の蹴りが黒に決まる。

(沢山の犠牲が出る事は分かっていた。…でも、それでもそうしないと五代雄介は真の黒き闇に成れない…)  
黒の蹴りが白に決まる。

(沢山…沢山悩んできた。このまま原作のように進めていいのかって…)

蹴りで体勢が崩れた白に黒がラッシュかける。

(だけど自分の行動で原作のようにいかなかった時の事を思うと何もできなかつた…)

そして黒のパンチが白のベルトに決まる。

(でもそんな事を思うのもこれで終わる…)  
ひびの入った自分のベルトを見て白は思う。

(少し変わってしまった所もあったけど…)  
そして白は見る。

己に向かって飛びあがり蹴りノ必殺技を繰り出す黒を。

(五代雄介…君の勝ちだ)

白は黒の蹴りを喰らい倒れる。

そして彼…ダグバの意識は薄れていった。

五代雄介の戦いはこうして終わった。

そしてダグバの戦いノ旅も…。

だが終わったのはあくまでこの世界での旅、彼は知る由もなかった。  
自分の旅がまだ続くという事を。

第一話〜全ての終わり／全ての始まり〜（後書き）

どうも作者です。

第一話いかがでしたでしょうか？

これから“彼”の旅が始まるわけですが前途は多難です（作者にも彼にも）。

後先なんて考えず勢いで行動している作者ですから…。

こんな駄作者が書く駄文ですが楽しんでいただけたのなら作者は嬉しくて画面の前で小躍りします。

これからも作者の駄文にお付き合いいただけたら幸いです。  
では次回でお会いしましょう。

## PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になるうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連に横書きという考えが定着しようとしています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、堪能<sup>たんのう</sup>してください。

---

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。  
<http://ncode.syosetu.com/n2502o/>

---

白き闇になってしまった男の旅路

2010年10月11日13時13分発行